



「私たちのこ・と・ば」

今回は、保育のお話ではないところから、始めたいと思います。

伝説的な女優 オードリー・ヘプバーンさんのお話です。その美しさと品格、芯の通った生き方は、未だに世界中の人々を引き付けてやみません。(私も、昔の映画「ローマの休日」を見て以来のファンの一人ですが・・)実は彼女はたくさんのお名画のみならず、心に残る言葉を残しています。例えば・・・

『欠点を隠そうとせず、正面から向き合うのです』

『年を取ると、自分にはふたつの手があるってことが分かるはず。ひとつは自分を助ける為。もうひとつは他人を助ける為』

等々、どれも彼女の生き方が見える言葉であり、人が生きるうえで大切な事を私たちに気づかせてくれます。そのヘプバーンさんの言葉の中でも、私が好きな言葉があります。それは・・・

『美しい唇であるためには、優しい言葉を使いましょう。素敵な目であるためには、人々の良い部分を探しましょう。』

これは、人にやさしく、思いやりある言葉が語れるようになると、人は自然と美しい姿となる。「美しい唇(外観)を望むなら、お化粧よりも自分の内面を磨いて、美しく、優しい言葉を使いなさい」とも言える言葉です。また、綺麗な目になりたければ、人の欠点や悪いところばかり見つけて、悪口を言うのではなく、自分にはない魅力を周りの人に見つけ出し、敬意を払える心を磨きなさいと、この言葉は教えてくれます。これを読む度に私は、ヘプバーンさんの生き方に感じ入ります。

翻って、子ども達と日々対応する私たちは、本当に優しく、綺麗な言葉、美しい言葉を子どもたちに届けているのでしょうか。

乳幼児期の子ども達は、今彼らが話したり、発している言葉は誰から学んだのか。全くのゼロの中から、彼らは周りの大人、家族、関わった人々からすべて聞き、インプットし、一回自分の中に取り込んで、そして取り込んだものを自分なりに組み合わせて話せるようになったのです。子どもは周りの人々からすべてを聞き、学んだのです。そして、大切なのはその聞いて学んだ「言葉の質」です。

棘と毒がある言葉、自己中心的な言葉、汚い言葉の数々を聞かされた子どもは、汚い言葉の裏にある卑しい心情が生まれ、「悪」の感情が支配するようになり、人を攻撃する言葉ばかり平気で言う人間になっていくでしょう。

反対に、優しく思いやりのある言葉をいつも聞いている子、耳に心地よい綺麗な、美しい言葉を周りの大人や、絵本の中からも聞いている子は、自然と心が落ち着き、穏やかで優しい心情を持った子に育ちます。

どんな子に育つかは、周りの大人が使う言葉、子ども達が聞いている言葉から決まっていくとも言えます。この何十年、残念な事に教育現場ではいじめの問題が後を絶ちません。いじめで苦しんでいる子を救うには、その子を救い出すだけでなく、人を攻撃し、あざ笑うことを喜ぶ側に我が子を決して育てない事、そして、いじめられる側の辛さ、しんどさを思いやれる子に育てなければなりません。これを私たち大人が決意する事から始めなければと思います。

先日も、最近幼児や小学校低学年でもいじめが起り始めている事、そのほとんどで本人が家庭で受けている虐待の裏返しで起こっている事例が多いという事が報告されています。虐待は極端な事例ではありますが、乳幼児期から優しく、綺麗な、穏やかな言葉を聞いたことない子、加えて事の良い・悪いをきちんと言い聞かされていない子の場合、子どもが悪い行動=非行を起こしてしまう可能性は決定的です。

私たちがどんな子たちを育て、どんな幸せな人生を歩ませたいのか、その思いは、私たち大人自らが話す日々の言葉の中から生まれてくることを、ヘプバーンさんの言葉から改めて肝に銘じ、子ども達に美しい、優しい言葉が日々語れる大人になりたいと、心の底から願わずにはいられません。



行事予定



4 (火) 年少組 身体計測 ※下着、シャツ類には必ず名前を記入のこと。また女の子は身長を計測しやすいようにヘアースタイルは考慮して下さい。

6 (木) 年長組 1学期保育参観 } ※各クラスの参観時間は、れんらくアプリ「おしらせ」(5/24掲載分)
7 (金) 年中組 1学期保育参観 } ご確認ください。

14 (金) **お弁当日**

21 (金) 年少組 1学期保育参観 (ビデオ参観) ※各クラスの参観時間等詳細は、後日れんらくアプリ「おしらせ」
でお知らせ致します。

下旬頃 防犯訓練 (予定)

【内科検診】 6月12日 (水) 光組、松組、梅組、桜組
14日 (金) 竹組、椿組、星組、鳩組
17日 (月) 雪組、月組、花組、パンダ組
28日 (金) うさぎ組、ひよこ組、アヒル組、コアラ組

【耳鼻検診】 6月 6日 (木) 年中組
10日 (月) 年長組
13日 (木) 年少組



お知らせ



<持ち物の名前記入について>

園児の持ち物については、全ての物に名前を記入していただくよう、以前よりお願いしておりますが、現在でも名前の記入の無い物、譲り受けられた方のお名前から書き直されていない物が多数見受けられ、複数の持ち物が混同したり、持ち主が分からない落とし物があったりしています。今一度、お子様の持ち物をご確認いただき、未記名の物があった場合は、必ずお子様のお名前を記入してください。

<園内での蚊や虫等の対応について>

気温も高くなり、蚊や虫が増える時期になってきました。園での蚊や虫等の対応について以下をご確認ください。

- 二酸化炭素で蚊を駆除する「モスキートマグネット」を水路や植木の多い場所 (2カ所) に設置。
- 各トイレや廊下に保育室入り口に忌避剤を設置。
- バスの待機時間、園迎えの際の待機時間には、待機場所に蚊取り線香を焚く。
- 用水路の清掃と消毒散布。(松原市に依頼)

その他、出来る限り蚊が寄ってこないよう環境を整えております。自然が多い園ですので、必然的に蚊や虫も発生してしまいますが、今後も引き続き、対策を進めてまいりますので、ご理解くださいますようお願い致します。

※また、虫さされに対して、虫さされで患部がひどく腫れ上がってしまう場合や何らかのアレルギー反応が出てしまう園児に関しては、担任に相談の上、虫よけシートや塗り薬を持参していただき、別途対応しております。投薬の際は、投薬依頼書が必要となりますので、使用される際は担任までご提出ください。

※虫除けのリングやパッチなどは各自つけていただいても構いませんが、外して友達にあげたり、園で遊び道具にしないようご家庭でも指導して下さい。特にパッチなどは、取れてしまった場合は園で処分しますので、予めご了承ください。